

Compass

vol.
786

 <http://www.nikkenkyo.com>

 nikkenkyo@nifty.com

9

2010
September

2010年度 日建協の活動&本部役員

第87回 定期大会

希望をつなごう 夢をつなごう 建設産業の輝く未来に

みんな時短に取り組み中！

第1回 時短アイデア大賞・図画コンクール

ちょっとひといき。。。

疲れた体に、パワーを注入～

春季会社訪問報告

時短アンケートを利用した意見交換

加盟組合交流目録：

◆フジタ職員組合

◆大和小田急建設労働組合

トピックス：

◆科学ライブショーにゲスト出演

◆日建協共済制度 第1次募集の締め切り目前!!

みんなの声が力になる あなたの声を伝えよう
私たちの「未来」のために

続・東西組合細見9ーピーエス三菱労働組合

クロスワードタイム 他

日建協

2010年度 日建協の活動 &本部役員

😊:今年度の抱負
😊:みなさんへのメッセージ

ふくしま れいじ
福島 玲司
議長
飛鳥建設労働組合
土木

😊 楽しい休日が過ごせれば、楽しく仕事ができ、結果として良い仕事ができます。スパイラルアップの基本は、休日です。

😊 休むことは、怠けることではありません。良い仕事をするための権利です。みなさん、休むことの大切さをもう一度考えましょう。

はらき ゆうこう
原木 祐幸
副議長兼
政策企画局長
(労働条件)
三井住友建設
社員組合 事務

😊 建設産業で働く私たちが、私生活も仕事もイキイキして活力あるものとなるようワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取り組んでいます。

😊 働き甲斐のある魅力的な産業を目指して、組合員の皆さんと力を合わせて行動していきたいと思います。仕事と生活の調和を目指してがんばりましょう。

かみやま さとる
上山 悟
副議長兼
政策企画局長
(産業政策)
奥村組職員組合
土木

😊 これまでの2年間の経験を糧に、より実のある1年にしたい。

😊 ワーク・ライフ・バランスが実現できる建設産業を作るため、一緒に取り組みましょう。

たけだ だいぞう
竹田 大三
副議長兼
政策企画局長
(産業政策)
東洋建設職員
労働組合 建築

😊 組合活動の原点は、一人ひとりの「想い」を大切にすること。みなさんの熱い想いを胸に、産業の未来のために今できることを考え、行動します。

😊 届けてください、みなさんの「想い」。日建協はその「想い」を建設産業の声として発信します。産業の未来をつくるのは、わたしたち組合員です。

おおたしろ さとる
太田代 哲
副議長兼
組織局長
鉄建建設職員組合
事務

😊 知らないこと・できないことをやらないことの言い訳にすることなく、これからの1年間を精一杯頑張ります。

😊 労働環境の改善はトライ&エラーの繰り返しで初めて達成できることです。失敗を恐れず一緒に挑戦していきましょう。

えんどうじゅんいち
遠藤 淳一
事務局長
五洋建設労働組合
事務

😊 これから2年間、事務局長を務めます。みなさんの「思い」を「かたち」にできるよう、全力で日建協活動を盛りたてていきます。

😊 “もっと身近な日建協”をモットーに、活動をわかりやすく広報していきます。ホームページを見てくださいね!

いずた けいたろう
出田 敬太郎
政策企画局長
(労働条件)
シミズユニオン
事務

😊 あっという間に過ぎ去った1年目の経験を活かして「WLBを実現できる」「こどもたちに誇れる建設産業」に向かって頑張ります。

😊 私たちを取り巻く環境は依然厳しいですが、明るさを忘れず、仕事も生活も大切に活動しやすい職場をみんなで築きましょう。

てらだ けいたろう
寺田 慶太郎
政策企画局長
(産業政策)
フジタ職員組合
建築

😊 今年度も引き続き建設産業の魅力化にむかって、組合員の皆さんとともに活動をしていきます。

😊 「日建協は何をしているの?」そう思っている組合員の皆さん、まずは日建協ホームページを「クリック」してみましょう!



まつい ひさえ
松井 久恵 事務局

😊 組合員の皆さんの労働条件が少しでも良くなるように取り組み、自分の時間も充実した1年間にしていきたいと思っています。

😊 コンパスやHPで日建協を身近に感じてください。そして、どんなことでもいいですから、日建協に声をあげてください。

い で ますみ
井出 真澄 事務局

😊 一つひとつ確かな仕事をし、皆さんの役に立てよう前向きに行きます。どんな時も日々は前進で。

😊 建設産業のモヤモヤ感はまだまだ取れませんが、歩んでさえいれば必ずすっきり晴れる日が。一緒に頑張りたいです。

や ぎ のりこ
八木 規子 事務局

😊 皆様からの共済制度に関するお問い合わせに対して迅速・的確に対応できるようにがんばりますのでよろしくお願いいたします。

😊 日建協の共済制度に既にご加入いただいている方も、ご加入を検討中の方も、共済制度について何かご質問等ございましたらご連絡ください。

つかもと ふくじ
塚本 福二 事務局

😊 雇用の確保、労働条件の向上が労働組合の役割だと思います。そのために頑張りたい。

😊 「日常の生産活動を通じて、社会の生産基盤づくりを行っている」という誇りを大切にしてください。

やまだ えいじ
山田 栄治
政策企画局
(労働条件)
戸田建設職員組合
建築

😊 ワーク・ライフ・バランスの実現に向け今できることを実践していくことが必要と考え、様々な情報発信に努めます。

😊 日々の多様な仕事にも優先順位づけを行ない自分の時間をつくるように心掛けています。今できることを日々実践し魅力ある建設産業を築いていきましょう。

もろさわ まさのり
諸澤 正毅
政策企画局
(産業政策)
ハザマユニオン
土木

😊 新しいことに積極的にチャレンジすること。「一期一会」の精神。この2つを大切に活動していきたいと思っています。

😊 日建協活動を加盟組合のみなさんとともにつくりあげていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

ひらやま かつき
平山 勝基
組織局
西松建設職員組合
事務

😊 建設産業で働くみなさんとその家族の笑顔が増えるように微力ながら明るく頑張ります。

😊 本部役員1年目です。慌てず、あせらず、じっくりと組合員の皆様とともに活動していきたいと思っています。

希望をつなごう 夢をつなごう 建設産業の輝く未来に

日 建 協 第 8 7 回 定期大会

日建協第87回定期大会が、8月2日・8月3日の両日、東京（日暮里）のホテルラングウッドにおいて開催されました。2010年度の日建協活動のスタートとなる本大会には加盟組合から代議員と多数の傍聴者が出席し、今年度の活動方針について活発な議論が交わされました。

日建協議長挨拶 「私たちが愛するこの産業を支えていこう！」

大会の冒頭、福島議長は「混沌とした状況の中、皆さんの建設産業に対する愛情と思いを引き継いでこの1年間、ワーク・ライフ・バランス実現に向けた意識改革、連帯意識の更なる向上、産業内での連携に注力し、活動してきた。」と振り返った後、「『失われた20年』と言われる時期に育った私たちが、この愛する産業を支えていかなければならない。一人ひとりが『何ができるのか』を考え、連帯を強め、産業をスパイラルアップさせるために一步一步、着実に前進していこう」と力強い挨拶を述べ、大会はスタートしました。



福島議長挨拶

来賓の方々から寄せられた応援メッセージ

議長挨拶に続き、多数お越しいただいたご来賓を代表して5名の方よりご挨拶をいただきました。

日本労働組合総連合会(連合)の菅家副事務局長からは「大きな時代の転換点にいる今だからこそ、新たな社会像が求められている。実現に向け日建協とともに邁進していきたい。」との挨拶をいただきました。続いて、内閣府 仕事と生活の調和推進室の本多参事官からは、昨年度、日建協で開催した女性技術者懇談会に触れ、「結婚・出産後も働き続けることに不安をもつ働く女性を引きとめるのも組合の役目のひとつ。中長期的に考えれば女性の活用を含むワーク・ライフ・バランスに取り組む組合活動は社会経済の発展にもつながるという確信を持って進めていってほしい。」とお言葉をいただき、国土交通省 総合政策局 建設市場整備課の松本労働資材対策官より「新しい時代が変わっていくなか、技術と経営に優れた企業に残ってほしい。そのためにも次世代に技術をつなげていくことは技術者の責務であるが、産業が夢や希望と誇りを持って進んでいかないと技術を伝えていくべき次世代は入ってこない。日建協の取り組みにより働く者にとって良い環境が作られ



菅家 功 氏
日本労働組合
総連合会(連合)
副事務局長



本多 則恵 氏
内閣府 仕事と生活
の調和推進室
参事官



松本 貴久 氏
国土交通省
総合政策局
建設市場整備課
労働資材対策官



堀井 奈津子 氏
厚生労働省
職業安定局
建設・港湾対策室長



建設産労懇
星野 康幸 氏
建設連合
中央執行委員長



建設産労懇
野崎 浩二 氏
全電工労連
議長

ていくとともに、産業の生産性が上がっていけば良いと思う。」とお言葉をいただきました。

また、厚生労働省 職業安定局 建設・港湾対策室の堀井室長からも「建設業で働く一人ひとりを大切にする日建協の取り組みに敬意を表する。産業をめぐる状況が厳しいときは、その産業が強くなるチャンス。明けない夜はない。」とのあたたかいエールが寄せられ、最後に産業別組織の仲間である建設産労懇を代表し、建設連合の星野中央執行委員長より「建設産業の構造的問題は、一企業、一組合あるいは業界団体、産別のみで解決できる問題ではない。それぞれにやり方はあるが、同じ目標を目指し、今後とも日建協とは連携を密にしていこう。」との言葉をいただきました。



建設産労懇
松本 晃 氏
道路建設産業
労働組合
議長



建設産労懇
久井 俊樹 氏
長谷工グループ
労働組合
中央執行委員長

1年間の活動報告を審議

続いて、2009年度の日建協活動報告・決算報告および共済制度運営報告・共済制度運営費決算報告の審議が行われ、出席代議員全員の賛成により、この1年間の日建協活動が可決・承認されました。



議案審議の様子

役員改選『福島体制2期目のスタート』

2009年度の活動に一区切りがついたところで、2010年度本部役員の選挙が行われ、すでに2009年度の定期大会で2年任期の承認を得ている福島議長を除く10名の新執行委員が選出されました(新執行部の顔ぶれについてはP.2-P.3をご参照ください)。

選挙後、選出された新執行部を代表し、福島議長は「一組合では困難な取り組みが日建協の活動の基本だが、その本質は実際に働いている方の最前線の声にある。日建協の使命は、働く者の悲鳴を様々なチャンネルを通し発信していくことにある」とし、「加盟組合における日建協存在意義の向上・業界団体との連携の充実・産業外への広報強化」の3つの方針を掲げ「建設産業は未来へと続いていくが『良き産業』『輝きある産業』は私たちの意識にこそかかってくる。ともに頑張ろう!」と新年度に向けた強い決意を込めた挨拶を行いました。

続いて、新執行部より2010年度の日建協活動方針(案)・2010年度予算(案)・2010年度日建協共済制度運営費予算(案)の各説明を行ったところで、大会初日は終了しました。

新年度活動方針の審議

大会2日目では、前日に説明が行われた2010年度の活動方針(案)他について、3つの分散会で議論を行い、出席代議員と日建協本部の活発で熱のこもった議論が繰り広げられました。続いて午後からの全体会議において各議案が審議され、分散会で十分な議論が尽くされた2010年度の活動方針(案)を含む全ての議案は、出席代議員全員の賛成により、可決・承認されました。



分散会の様子

●大会議長団



矢島 代議員
(戸田建設職員組合)



角田 代議員
(大和小田急建設労働組合)



武者 代議員
(ハザマユニオン)

●分散会主査



稲葉 代議員
(大豊建設労働組合)



相川 代議員
(馬淵建設職員組合)



山本 代議員
(大鉄工業労働組合)

●アシスタントのみなさん



左より:
伊藤 志摩 さん
(戸田建設職員組合)
内田 舞 さん
(五洋建設労働組合)
千葉 真理子 さん
(西松建設職員組合)
萩原 由美子 さん
(飛鳥建設労働組合)
松丸 孝子 さん
(三井住友建設社員組合)

名刺交換会

大会に引き続き、多数のご来賓と加盟組合執行委員の出席のもと、名刺交換会を開催しました。冒頭の福島議長の挨拶に続き、日本労働組合総連合会(連合)の木村総合企画局長より「労働を中心とした福祉型社会のバージョンアップに取り組む。そのためにも就労環境を向上させ、労働を通し社会にアクセスし自己実現に安心して臨める社会を目指していく。日建協もどどん議論に参加してほしい。」とのご挨拶をいただき、社団法人 日本建設業団体連合会(日建連)の有賀専務理事からは「産業界と労働界は車の両輪である。活発に、効率的に、一つになってこの難局を乗り越えていきたい。」とのご挨拶をいただきました。続いて財団法人 リバーフロント整備センターの竹村理事長から「インフラという言葉には『人には見えない』という意味もある。社会の下部構造とも言うべき建設産業は、見えないところ

で日本を支えているインフラセクターである。今後とも力を合わせ、日本の下部構造を守っていただきたい。」とのご挨拶をいただいた後、国際建設林業労働組合連盟 日本加盟組合協議会(BWI-JAC)の河田議長より「森林産業、建設産業とも労働環境は諸外国においても厳しい状況にある。日本の労働環境も今なお厳しいが、人も賃金も確保すべきところは確保されなければならない。ともに協力していこう。」とのご挨拶をいただきました。

ご来賓の方々からの激励と祝辞をいただいた後は、加盟組合を代表し、東鉄工業労働組合の米川委員長より「時短アイデア大賞・図画コンクール受賞式(9ページをご参照ください)」に感動するとともに、家族・子供あつての仕事であり、それこそモチベーションの源であることを実感した。」という挨拶と声高な乾杯のご発声をいただきました。



木村 裕士 氏
日本労働組合
総連合会(連合)
総合企画長



有賀 長郎 氏
社団法人 日本建設業
団体連合会(日建連)
専務理事



竹村 公太郎 氏
財団法人 リバーフ
ロント整備センター
理事長



河田 伸夫 氏
国際建設林業
労働組合連盟
日本加盟組合
協議会(BWI-JAC)
議長



米川 委員長
(東鉄工業労働組合)

みなさん、お疲れ様でした! ～ 退任役員挨拶 ～

今定期大会をもって日建協本部を退任された3名の役員を代表し、那須前事務局長よりご挨拶の言葉をいただきました。それぞれの職場に戻られた皆さんの今後のご活躍を期待しております。本当にお疲れさまでした。

日建協本部での3年間の活動を振り返りますと、お世話になった加盟組合の執行部のみなさんをはじめ、多くの仲間のお顔が思い浮かんでまいります。

私たちは同じ建設産業の中で、企業の一員として切磋琢磨しながら頑張っていますが、企業の枠を超えて苦労を分かち合いながら問題意識も共有出来る心強い仲間、互いに励ましあい、そして困ったときには助け合えるすばらしい仲間がいます。強い絆で結ばれた日建協の活動が今後、ますます発展することを願

いながら、これからも日建協の一員として、皆さんとともに頑張っていきたいと思います。3年間、どうもありがとうございました。

那須 功司



(写真右から)
那須 功司(なす こうじ)前事務局長/西松建設職員組合
寺内 哲(てらうち さとし)前副議長兼政策企画局長(産政担当)/戸田建設職員組合
中村 雄二(なかむら ゆうじ)前副議長兼政策企画局長(労条担当)/ハザマユニオン

みんな時短に取り組み中!

～第1回時短アイデア大賞 ・図画コンクール～

日建協初の取り組みとして開催された
時短アイデア大賞と図画コンクール。
結果について報告します。



みんなで時短を進めよう!

わたしたちのワーク・ライフ・バランスを実現し、心と体の健康を保つには、時短推進活動に積極的に取り組み、何よりまず長時間労働を改善していく必要があります。

個人ではなかなか思いつきにくいアイデアを募集して、寄せられた良い事例やアイデアを水平展開することで、みんなで時短を推進していくために第1回時短アイデア大賞は開催されました。

多くのアイデアが寄せられました!

広くみなさんから募集した「時短アイデア大賞」には、100件もの時短に関する取り組み事例やアイデアが寄せられました。

アイデア段階のものだけでなく、実際に取り組んでいる事例も約3分の1を占めました。会社全体で取り組んでいる事例から、個人レベルで意識と仕事の進め方を変えようといったもの、労働基準法等のワークルールの整備が必要といった意見まで幅広く、時短に対する思いのこもったアイデアが寄せられました。



職場で話し合うきっかけに

こうして集まった時短アイデアや図画作品について、加盟組合から参加いただいた時短推進委員のみなさんと審査を行った結果、それぞれ入選作が決定しました。

大賞や優秀賞、入選した惜しくも選外となった事例やアイデアは、冊子形式にまとめて日建協ホームページにてPDFで公開しています。

組合の職場会や部署において、これをきっかけに話し合い、お互いに働きやすい職場環境を目指して、職場のサポートや雰囲気づくりをすすめることで、時短推進の一助としてください。

実際にいくつかの入選作品のアイデアも、職場や組合で時短について話し合ったことがきっかけになっています。



また、日建協のホームページに掲載することで、建設産業で働くみなさんにも広く公開しています。多くのみなさんに活用してもらい、建設産業全体を働きやすいものにした、私たちと一緒に時短や産業の魅力化に取り組んで欲しいという思いなのです。

大賞・優秀賞 をみてみよう

* 大 賞

「帰宅時間申告ボード」

「帰宅時間申告ボード」は、各自の席（パソコンのモニター上部）にスチレンボードで作成して取り付け、赤色の目印をスライドさせることで、目標帰宅目標時間を表示するものです。シンプルなアイデアですが、目標時間を各自設定することで意識してメリハリをつけ、「見える化」されることで、チーム全体で互いに意識しながら仕事を進めることができるという実際の取り組み事例です。



シミズユニオン 中村 徹さん



今回応募した『帰宅時間申告ボード』は、部内会議の中で、残業の多い設計部が「どうすれば時短することが出来るか」というテーマで話し合った際に生まれたものです。

時短のためには、個人への負担を集中させることなく、チーム全体で問題解決し、作業を進めることが大事だと思います。そのためには、各個人がその日の帰宅目標時間を設定し、それをチーム全体で意識しながら仕事を進める必要があるのではないかという思いから、帰宅目標時間を誰にでも見えるように表示しようと考えました。

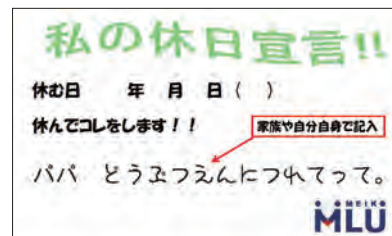
今回たまたま私の名前で応募させて頂きましたが、『帰宅時間申告ボード』は部内での話し合いの中から生まれたアイデアと、若手のデザインセンスのたまものです。

日常行っている部内活動がこのようなかたちで評価を頂き、驚きと共に大変うれしく思います。

* 優秀賞

「わたしの『休日宣言』」

「私の『休日宣言』」は、作業所の土曜閉所日や自分が休む予定をした土曜日など、休日に何をするかを所定の用紙や付箋に家族に書いてもらうなどして、デスクや作業所の予定表に表示するアイデアです。休日の行動予定を立てることで、休日に向けてしごとを進めるモチベーションを上げることが出来ます。また、こうした取り組みにより周囲を巻き込んで時短の輪を広げることが期待できます。



名工建設職員組合 伊與田 尚秀さん



この度は「時短アイデア大賞」にて優秀賞をいただき、ありがとうございます。受賞の報を聞いたときは、驚きと喜びでいっぱいでした。私のアイデアが少しでも皆さんの時短に結びつければ嬉しく思います。

このアイデアは、以前現場オルグで時短について議論した時に、組合員一人一人が今の現状を変えようとする意志を持つこと、そしてそれを実行することが大切だという話がありました。まずは自分から。自分ひとりなら、やるかやらないかです。そして、それを実行するために周りの皆にどう知らせるか、ということ考えた時に浮かびました。

「私の休日宣言!!」宣言をすることによって休日をとる!という気持ちが狼煙として周りの皆に伝わるように、また周りの皆にも広がり、職場の中でワーク・ライフ・バランスの実現の一助になったとしたら、嬉しく思います。

* 優秀賞

「ワンデーレスポンス『見える化』で時短推進!」

ワンデーレスポンスに作業所と全社の関係部署が連携して取り組むことで、待ち時間も少なくなり、工事を円滑に進めることができ、時短につながります。

さらにワンデーレスポンス掲示板は、期限によって色分けした対応表に、業務内容を付箋に書いて貼っていくことで、先輩に直接話しづらい場合にも若手が業務を抱え込むことが少なく、サポートや業務の平準化を行うことで時短につながります。



大和小田急建設労働組合 廣垣 大祐さん



今回の取り組みは部署間の連携不足を解消する方法がないかと考えた事がきっかけでした。他部署に業務を依頼するとき、現場と本社とでは緊急度に対する認識に温度差があり、対応が遅れて業務に支障をきたす事がありました。ワンデーレスポンス掲示板はこの問題を解決する為の1つの手段として、まずは身近な現場内で取り組んだものです。掲示板を利用し職員の業務内容を明確にすることで、バランスよく業務分担ができ、一人の職員の業務が増えてしまった時は全員でフォローを行いました。このことで現場内に起こりうる問題を早期に解決できました。

取り組みは社内にも展開され、部署間同士の打合せもみんながワンレスを意識することで以前より回答も早くなり、待ち時間が減り、業務を効率的に行うことで、時短につながりました。これをきっかけに、誰かが私たちの取り組みをヒントにし、更によりよい時短アイデアが生まれ、建設業全体に波及していければいいと思います。

他にもこんな時短アイデアが

他にも幅広く取り組みやアイデアが寄せられました。

例えば、**月1回の作業所土曜閉所にあわせて、金曜日をノー残業デーにする取り組み事例**や**作業所での打ち合わせにおいて各個人の業務確認を行い仕事のサポートや平準化を図っている取り組み事例**、**組合全体で「やってみよう行動一覧表」を作成して取り組んでいる事例**、**組合全体でデュアルモニター等IT活用等での効率化を推進している事例**、**労使が協力して社内帳票の削減や書式統一に取り組んだ事例**などが寄せられ、組合員のみなさんが日頃から職場で時短にしっかりと取り組まれていることが伝わってきました。

また、残業が当たり前になっている意識を変えて**ノー残業デーではなく『頑張るデー』を限定してメリハリをつけようというアイデア**、**作業所全体で目標となる「削減時間」を設定して、ノー残業デー他に協力して取り組むアイデア**等々が寄せられ、今後の私たちが時短推進活動を進めていくうえで参考になり、かつ勇気づけられるものでした。



打ち合わせによる個人の業務確認



デュアルモニターによる効率化

また、職場全体での取り組みだけでなく、通勤時間や始業前の時間の活用、エクセルの読み上げ機能による作業効率化といった個人レベルで取り組めるものもあります。まずは「自分から」ということで、既に時短に取り組まれているみなさんも多いと思いますが、自分に合うものを見つけて、さらに時短やワーク・ライフ・バランスを進めていただきたいと思います。

図画コンクールも力作ぞろい

時短アイデア大賞と同時に募集した図画コンクールにも「家族と休みの日にしたいこと」をテーマに家族と過ごす休日に想いを込めた素晴らしい絵が160作品も寄せられました。

熱心に描かれた数多くの絵を前に、審査員もかなり頭を悩ませましたが、予選投票と決戦投票の結果で金賞6作品、銀賞10作品が選ばれました。

金賞



「プールでみんなで遊ぼうね!」
高村梨花さん(佐藤工業職員組合)



「石でお顔を作ったよ」
高橋柚奈さん(飛鳥建設労働組合)



「もういちどいきたい おきなわりよう」
大澤明日香さん(飛鳥建設労働組合)



「ぼくじょうで どうぶつとあそぶ」
横島未羽さん(飛鳥建設労働組合)



「/V/ また沖縄の水族館に行こうよ」
関 笙華さん(三井住友建設社員組合)



「家族と登った車山」
高橋若奈さん(飛鳥建設労働組合)

その他の作品も素晴らしい出来映えですので、ぜひ日建協ホームページや冊子をご覧ください。

描かれた絵をつうじて

こども達に描いてもらった絵をつうじて、「キャッチボールをパパと一緒にしたい」「海で一緒におよぎたい」など、今まで気付かなかった思いを知り、コミュニケーションをとる良いきっかけになったという声などが寄せられました。

また、なんとか時間をつくって、年に1回は家族を近くでもどこか旅行に連れて行ってあげたい、思い出を作ってもらいたい、思わずそんな気持ちにさせられます。

時短アイデア大賞をプレスで発信!

日建協では、この時短アイデア大賞の結果を建設専門紙や労働新聞などにプレス発表を行いました。

私たち組合員自らがまず労働時間短縮に取り組んでいる姿勢を示すことによって、加盟組合企業や経営者団体、行政などに対し、労働時間短縮に向けた更なる努力や協力を効果的に要請することができるのです。



(7月13日付建設専門紙掲載記事)

受賞式を行いました!

時短アイデア大賞と図画コンクールの入賞者をお招きして、8月3日に受賞式を開催しました。

日建協の定期大会にあわせて開催し、加盟組合の代議員や来賓など多くのみなさんに祝っていただきました。時短推進に向けたこの受賞式には、時短アイデアの受賞者だけでなく、小学校入学前から6年生までのこども達とご

家族も集まり、第1回受賞式にふさわしい賑やかなイベントとなりました。



時短アイデア受賞者のみなさん



図画コンクール受賞者のみなさん



ロビーにて図画を展示

受賞式控室 みんなワクワク

加盟組合でもしっかり活用!

加盟組合では、すでに活用されたところもあります。フジタ職員組合では、日建協の表彰と別に独自に時短アイデアの表彰と図画コンクールの表彰を行い、労働時間短縮に向けた意識高揚に取り組みました。

また、7月に自社の労使で初めて取り組んだ「一斉土曜閉所日」のポスターに自組合で表彰した図画作品を早速活用されています。



おわりに

多くのみなさんに参加いただき、今回の取り組みを行うことができました。本当にありがとうございました。

その成果物である「事例・アイデア・作品集」を、職場での話し合いでみなさんに活用してもらっただけでなく、日建協が行う、行政・経営者団体・加盟組合企業に対する労働時間短縮への協力要請や各種提言に際し、時短への私たちの取り組み資料として活用していきます。

今回の取り組みを活かした、みなさんの更なる時短への取り組みやアイデアが、働きやすい建設業の未来へとつながるように期待しています。みんなで一緒に、労働時間短縮、そしてワーク・ライフ・バランスに向けて頑張りましょう。

Let's Go!!

ホームページでも公開中!!

日建協ホームページ(www.nikkenkyo.com)にて、「日建協 第1回 時短アイデア大賞・図画コンクール 事例・アイデア・作品集」PDFを公開中です。

また、今回のコンパス発行に合わせて、「家族で休みの日にしたいこと」図画コンクールのWEB展覧会を開催し、『帰宅時間申告ボード』のつくり方も公開しています。ぜひホームページにアクセスして一度ご覧ください!

5つとひといき... 疲れた体に、パワーを注入～



江戸は、風水都市？ それとも霊的防衛都市？

“江戸”の歴史は、1590年に秀吉の命により、徳川家康が江戸の地に国替えを行ったところからはじまります。地理的にも地形的にも何の益もなく、不利な江戸の地を、家康は、完璧なまでの一大都市に仕上げました。これだけの都市を創り上げた家康は、将軍としても、商人としても、町づくりをする土木技術者としても、まれに見る才能と技量をもっている「スーパーマン」のように思えます。

しかし、江戸という都市は、「風水都市」だとか、「霊的防衛都市」だとか、怪しげな噂を耳にします。

家康が行った国家構築には、南光坊天海僧正という天台宗の高僧が深く関与しており、江戸城の鬼門（東北）に、東叡山寛永寺、裏鬼門には増上寺が建立されています（四代将軍家綱の時には、本来の裏鬼門に日枝神社が建立されています）。また、お濠も、江戸城（中心）に向かって螺旋状に配置しており、江戸に入ってくる「気」をいったん渦巻きの中心（江戸城）に集めて、パワーアップしてから江戸市中に放出する風水システムだという説もありますし、土木工事として有名な利根川の改修工事も、鬼門から入る暴れ龍“坂東太郎”を鎮圧するためだとも言われています。天海は、これらすべての政策に宗教的な関与を行い、家康だけでなく、秀忠・家光にも仕え、徳川家を盤石のものとした偉人なのです。徳川家は天海（＝密教）との関わりが深いことが、様々な歴史的都市伝説を生んでいるのでしょう。

三代将軍家光が創った江戸の結果？ 「五色不動」

さて、今回散策してきた「五色不動」は、三代将軍家光が「江戸の活性化と庶民のお守りのために」江戸府内にある不動尊を割り当てたと言われています。また、密教という五行思想の五色（白・赤・黄・青・黒）の色にまつわる名称や伝説を持つ不動尊を指し示す総称でもあり、目黒・目白・目赤・目青・目黄の各不動尊のことを指しています。一説では、天海が、江戸の町づくりの仕上げに、北から流れ込む東照大権現（家康の神号）からの繁栄エネルギーを江戸市中にまんべんなく行きわたらせるために置いたとされ、江戸城鎮護のため、四神相応の地にならって青を東、白を西、赤を南、黒を北、黄を中央として東西南北中央を五色で表したとありますが証明はされていません。

云われも非常に気になりますが、今回は深く考えず、疲れた体に「パワーを注入」するために、また、「江戸（＝建設産業）の活性化と庶民（＝労働者）のお守りのために」廻ってきます。

いざ出陣！ トップに行くのは、“目黒”から…

最初は、五色不動の中で最も由緒の古い目黒不動です。JR目黒駅から、徒歩で15分くらい（東急目黒線：不動前駅からだと8分ほど）のところにある龍泉寺（りゅうせんじ）に目黒不動尊は鎮座しています。

文化・文政の時代には「江戸の三富」と呼ばれる富籤（とみくじ）が行われていたこともあり、江戸庶民の行楽地であったそうです。

仁王門をくぐり、境内へと入ると、目の前には本堂へ上がる“男坂”と呼ばれる急な石段があります。この石段の下、左方の池が、「独鈷の滝（とっここのたき）」で、慈覚大師円仁が寺地を定めようと独鈷（古代インドの武器に由来する仏具の一種）を投げたところ、落下した場所から霊泉が湧き出し、今日まで枯れることがないと言われています。本堂の裏には、大日如来像もあります。



独鈷の滝と水かけ不動尊



龍泉寺本堂

続いて、世田谷の目青不動

東急田園都市線三軒茶屋駅から徒歩5分くらいの場所にある最勝寺。この寺院は、寛永寺の末寺だそうです。通称「教学院（きょうがくいん）」、正式名称「竹園山最勝寺教学院」といい、本堂の本尊は阿弥陀如来、札所の本尊が、不動明王（目青不動）です。不動尊は秘仏なので見ることはできませんが、駅前再開発で1996年に建てられた「キャロットタワー」の真裏にあるひなびた寺院なので趣があります。



教学院の納経所

3か所目は、目白にある目白不動

3つ目は、目白不動が納められている金乗院（こんじょういん）、正式名称「神霊山金乗院慈眼寺」です。場所は、豊島区高田にあり、副都心線「雑司ヶ谷駅」、都営荒川線「学習院下」になります。日建協のある高田馬場からも、歩いて20分ぐらいです。

目白不動尊は、もともとこの金乗寺にあったものではなく、1キロほど離れた関口駒井町（現在の文京区関口）にあった新長谷寺（しんちょうこくじ）という寺院にあったものです。新長谷寺は、第二次世界大戦による戦火で焼かれ、廃寺となってしまう、金乗寺に移されたそうです。



金乗院本堂

4か所目に移動です。 目赤不動のある本駒込へ

4か所目は目赤不動の南谷寺（なんこくじ）です。場所は、南北線の本駒込駅。駅の階段を上がると、本郷通りで、その向かい側に寺はあります。

ここにある目赤不動も移転したもので、もとは、駒込村の千駄木・動坂（現在の都立駒込病院付近）に、「不動堂」という草庵におき、目赤不動としていたそうです。その後、「不動堂」は「大聖山東照院」と称するようになり、享保7年（1732年）には寛永寺の末寺となり、南谷寺の寺号を得ました。しかし、第2次世界大戦の戦火で、本堂と不動堂は焼失し、現在の位置に移転したそうです。



山門



目赤不動のお堂

5か所目と6か所目の 2つの目黄不動へ

続いて、目黄不動2か所に向かいます。

まずは、江戸川区平井にある最勝寺です。正式名称「牛宝山明王院最勝寺」で、ここも大正2年（1913年）に移転したそうです。

なかなか不動明王本尊に参拝できないなか、このお寺は、隣にある寺務所から中に入り参拝することができます。

中に入るなり背筋が張り、緊張感が生まれました。中央に鎮座する不動明王と、その前にある護摩焚き場。焚かれた炎の中に浮かび上がる不動明王の姿は、さぞ勇ましいこ

とでしょう。また、ここには護摩焚き用の木が200円で購入できるので、「厄除、産業発展 日建協 福島玲司」と書いて、奉納してきました。次の護摩の日には、真言とともに焚かれるでしょう。

そして、最後の三ノ輪にある永久寺です。この寺院は、何も資料がありませんし、残念ながらご住職にもお会いすることができませんでした。不動尊は外から覗くことができませんでした。

また、この記事を書くために調べて解ったことですが、どうも江戸時代には、目黒・目白・目赤の三不動しかなかったようです。目青がいつ頃から生まれたかは、記述もなく定かではありませんし、目黄不動が指定されて、五色不動という呼び名が生まれたのは、明治以降のようです。

しかし、そもそも不動明王は、庶民から「お不動様」と呼ばれ親しまれていたのですから、明治以降になって、増やされたとしても決して悪い事ではないように思います。



目黄不動尊（最勝寺）



目黄不動のお堂（最勝寺）

「五色不動」を廻って…

今回の取材の発端は、パワースポットというキーワードと江戸の不思議という個人的興味から始まりました。鬼門や裏鬼門、東照宮などの存在は知っていましたが、「江戸五色不動」について、あまり知らなかったことによるものです。それに、“パワー”と“不動明王”が、妙にマッチングしていることも選んだ根拠の一つです。徳川の歴代将軍は、「江戸の発展は、庶民の活性化である」とし、そのために、運河を作り、暴れる利根川を東に変え、庶民が集う場所を町の四方に置きました。

今回の取材で感じたことは、国の指導者は、国づくりの基本に、庶民（＝労働者）が、安心して暮らせること、楽しんで暮らせることを一番考えていたという事でした。五色不動は、その象徴であり、決して結界を敷くためではなかったのでしょうか。その結果が、徳川265年の繁栄と天下泰平の世を築き上げたのだと思いました。やはり、指導者（＝経営者）たるもの庶民（＝労働者）を見据えなければ、国の発展はないとした考えに基づいた国づくりだったのではないのでしょうか。

みなさんも、「休日を楽しく遊ぶ」いにしえの庶民の姿を浮かべながら、不動明王のパワーを授かり、あすの仕事に生かしてみてもいいかがでしょうか？

Let's Go!!

紙版Compassの都合上、かなりの量を割愛せざるを得ませんでした。Web版Compassでは、詳細まですべてを公開しておりますので、是非ご覧ください。
URL <http://homepage1.nifty.com/nikkenkyo/back-number/compass786/10-11/index.htm>



皆さんの時短アンケートは こうして会社側との意見交換に使われています！

春季会社訪問報告

日建協では毎年2回、春季(4月～5月)と秋季(9月～10月)に加盟組合の所属企業を訪問しています。先日終了した春の会社訪問では時短をテーマに、私たちの労働環境の実情とその改善について会社幹部との意見交換を行いました。今回は特に加盟組合の皆さんにご協力いただいた時短アンケートをもとに各会社の「レーダーチャート」を用意して、説明を行いました。このページでは、時短アンケートをまとめた“そのあと”の話を皆さんにご紹介したいと思います。

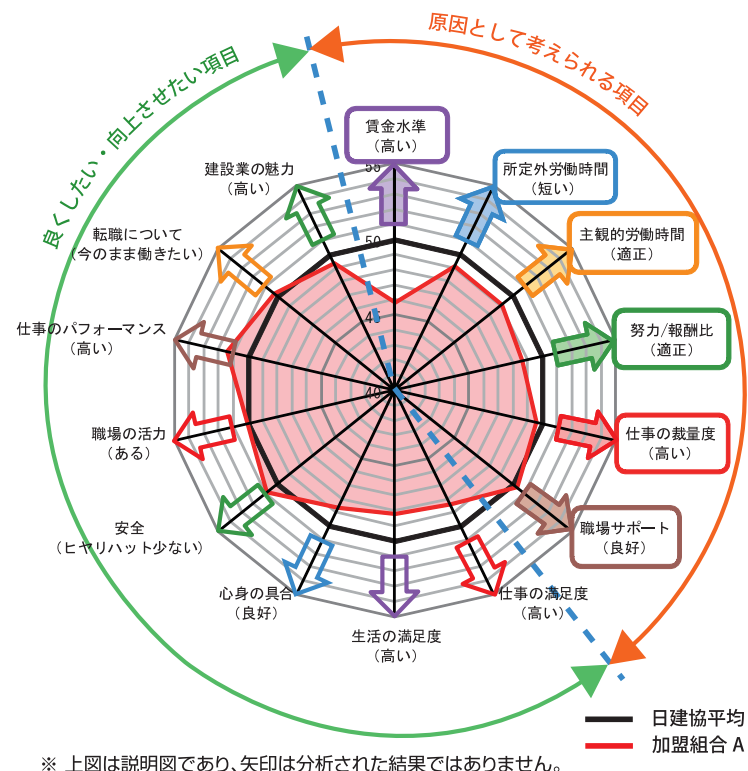
右の図が実際に会社訪問の説明で使用した「レーダーチャート」です。

日建協では、昨年行った時短アンケート結果から、私たちの労働環境の向上に大切と思われる項目の全てを数値化し、各会社における特色ともいべき値を各項目別に導きだしました。図中の赤線部が、各項目別の日建協平均値を50とした時に対する加盟組合の項目別の値です。

この各項目は右図のとおり、『原因として考えられる項目』と『私たちが良くしたい・向上させたいと思う項目』に分かれ、それぞれが相関関係にあります。『原因』を改善すると、それに対応する『私たちが良くしたい・向上させたい項目』が改善されます。(図中の同色矢印が相関関係になります。) また、その相関関係は加盟組合によって異なりますし、原因の改善によって、影響を受ける項目は必ずしも1:1ではなく、一つの項目の改善によって複数目の項目が改善される場合も多くあります。相関関係にある原因項目を示せば、企業が良くしたいと考える項目について「どこに集中して手をつければ良いのか」を絞ることができますし、複数の効果が得られることから、企業側は効率的に改善したい項目に取り組むことができます。今回の会社訪問では、このように、会社側が「良くしたい」と考えることについて、日建協より取り組むべきポイントを伝えました。

この企業別レーダーチャートを用いた意見交換では、会社側からも「この切り口は新しい」「レーダーチャートを見て、これまでの取り組みにより他の要素も伸びるということを知ることができた。これまでの取り組みが間違っていなかったと感じた。」との言葉もあり、非常に興味を持って聞いていただけました。

今回、日建協では会社側に対し、労働環境の向上について、より効率的と考えられる取り組み策を奨めるという観点からレーダーチャートを用意し、会社側と意見交換を行いました。やはり多くの問題は長時間に及ぶ所定外労働時間に帰結しています。今後も日建協では様々な手法を用いながら、時短活動の必要性について、会社側との意見交換を実施していきます。



加盟組合交流日誌

Exchange diary of affiliate unions

フジタ職員組合

フジタ職員組合結成60周年記念式典を開催しました！

フジタ60周年記念大会

～於：ホテルマリナーズコート東京(2010.7.8)～

フジタ職員組合は、結成60周年を迎えるに当たり、フジタ職員組合結成60周年記念式典を開催しました。

1951年4月の発足以来、労使の関係は「対立」の時代から「協調」の時代、そして現在の「共生」の時代へと変化を遂げてきました。そのなかで、組合が幾多の壁を乗り越え、今日を迎えられたのは、諸先輩方の熱意と努力の賜物に他なりません。諸先輩方に対し、感謝の念を抱くとともに、この節目を明日への礎としなければならないと執行部一同決意を新たにしました。

ご来賓の皆様からは、暖かく力強い激励の言葉を頂き、改めて労使共生の重みを感じました。今期は、労使のがんばりが相乗効果を発揮すれば、難局を乗り越えることができるという考え方のもと活動したいと考えています。「フジタが安心して働ける会社になる明日を目指して行こう!」この考え方を改めてみんなで共有することができました。会は終始和やかな雰囲気で行われ、フジタ職員組合とフジタ、建設業が繁栄し、私たちが活発な組合活動ができることを祈念し、閉会しました。



参加者のみなさん

フジタ職員組合 結成60周年記念式典



挨拶をする
北山委員

結成60周年記念式典のようす

最後になりますが、式典に参加いただきました関事務をはじめとする会社幹部、また、日建協の福島議長、西松建設職員組合の小林中央執行委員長、間組職員労働組合の今川中央執行委員長、フジタ職組歴代委員長の皆様、そしてご祝電をいただきました各単組の皆様にご挨拶申し上げます。

大和小田急建設労働組合

組合活動をつうじて“人財”育成

コクヨ・エコライブオフィス見学会

～於：コクヨ(株)・エコライブオフィス品川(2010.5.25)～

組合活動として“人財”育成をキーワードにした改善提案も行っている大和小田急建設労働組合。今回は、その一環として、「ECO」と「働き方」をテーマに、コクヨ株式会社のエコライブオフィスで行われた見学会の報告です。

このエコライブオフィスは、築40年のオフィスビルを改修し、2008年11月にオープンしたもので、オフィスとして使用しながら、CO2排出量を削減する実験も行っています。実際に、年間CO2発生量は、設備改修や屋上緑化などによるオフィスのエコ改修と、働き方を変えることによる運用により、改修前より41.5%削減できているそうです。働き方による効果は4%もあるそうで、これは驚くべき数字ですね。

今回、大和小田急労組は、「ECOをいかにして実践しているのか」「どんな働き方をしているのか」を、実際に見て、感じ、そして、自らの行動に繋げることを目的に、この見学会を開催したそうです。

参加者からは、「こんなに楽しくECOを考えたのは初めての体験だった。」「組合活動のおかげで貴重な体験ができ、営業トークに活かそう。」「ハードとソフトの両面からECO提案になるヒントをもらった。」「他産業の働き方をイメージしながら施工管理できそう。」などなど、いろんな視点からの感想が寄



参加者のみなさん:

エコライブオフィスのコンセプトは「ECO + CREATIVE = 意識改革」
エコと働き方について楽しく考えた勉強会でした



◀自然光を取り入れたライブラリー

▼晴れた日はガーデンオフィスでも仕事

せられており、参加者自らが働き方について考え、さらには仕事に活かせるヒントまでもらったようです。

みなさんの組合活動でも、他産業の働き方やECOをテーマにした勉強会を企画されてみてはいかがでしょうか。きっと「いい刺激」がもらえますよ。

見学の受付はこちら↓

コクヨ エコライブオフィス品川 ホームページ

<http://www.kokuyo.co.jp/ecology/ecoffice/index.html>

TOPICS

科学ライブショーにゲスト出演 ～於:科学技術館(千代田区北の丸公園)～

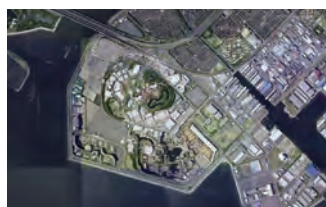
2010年6月5日(土)

こどもたちに「建設のしごと」を紹介 科学ライブショー「ユニバース」

みなさんお馴染みの「でんじろう先生」の科学教室で有名な科学技術館において、日建協役員が科学ライブショー「ユニバース」にゲスト出演しました。

4回目の出演となる今回は、子供たちとその家族連れを中心に、100名ほどの来場があり、「くらしをささえる建設のしごと」と題し、社会資本整備の大切さと建設の仕事を紹介しました。

講演では、衛星写真を用いて、羽田空港やディズニーランドを当てるクイズも交えながら、建設は多くの人が協力してものづくりをしていることを伝えました。日建協役員が会場に問いかける



ここはどこ?

と、こどもたちから元気な答えが返ってくるなど、楽しい雰囲気の中で建設の仕事を紹介することができました。

また、タイムスリップと称して、江戸時代から現代までの建築物や構造物、そしてつ

くっている映像を、日本建設業団体連合会(日建連)提供のDVD「Kensetsu FILMS」を用いて紹介しました。会場には、東京駅や東京タワーをつくっている様子など、昔の東京の光景を見て、子供に熱心に説明している父親の微笑ましい姿もあり、大人の方にも楽しんでいただけたようです。

この科学ライブショー「ユニバース」は、毎週土曜日の午後開催されており、次回の日建協のゲスト出演は2011年2月頃を予定しています。詳細が決まりましたら日建協のホームページでも紹介しますので、是非ご家族連れでお越しください。

科学ライブショー「ユニバース」ホームページ

<http://universe.chimons.org/weekly/000414.html>

会場と掛け合いながら講演する日建協の竹田政策企画局次長



会場の様子。ショーの前半では3D映像による天体ショーも



組合員の皆さ～ん

2010年 9月17日(日建協必着)

2010年度の第1次募集期間の締め切りは目前ですよ!!

日建協の
共済制度って
なあに?



日建協が加盟組合員の皆さんの福利厚生の充実を目的として運営している保険制度の総称です。日建協自身が運営しているので、事務手数料などの諸経費が安く、個人で同様の保険に加入するよりも数多くの金銭的なメリットも受けられるんです。例えば年金の積立だって、元本が実際の支給額を上回るまでかかる年数もとっても早いんですよ。

どんな種類が
あるの?



ゆとりある老後の生活に向けた「**積立年金制度**」、万が一のケガや病気に備えるための「**総合医療サポート制度**」、三大疾病(ガン・心筋梗塞・脳卒中)に対する闘病資金「**職場復帰サポート制度**」の3つの保険を扱っています。

ズバリ!
お勧めの制度は?



どの制度も加盟組合員の皆さんに自信を持ってお勧めできますが、なかでも「**総合医療サポート制度**」がお勧めの保険です!!
その1:一泊二日の入院から日額5,000円給付されます。(5,000円コース加入者)
その2:三大疾病(がん・急性心筋梗塞・脳卒中)による疾病は
倍額給付&支払日数無制限
その3:『24h健康・医療相談』『介護相談』『メンタルヘルス相談』の**無料電話相談窓口つき!!**
本人家族とも年間5回まで無料でメンタルヘルスの面接相談も受けられます。
その4:**加盟組合員だけでなく配偶者も加入できる! そして女性に優しい!**
女性特有の疾病による入院・手術は**支給額上乘せの大型給付**
※ 配偶者のみのお申し込みはできません



いかがですか? この保険制度は何と言っても日建協加盟組合員しか加入できません! 今が第1次募集の締め切りに駆け込むチャンスです! 共済制度の加入案内パンフレットです。ご希望の方は、ご自身の組合本部へお問い合わせいただくか、直接、日建協本部までご連絡ください。

日建協連絡先
TEL: 03(5285)3870 (担当:八木)
E-mail: XLZ02643@nifty.com



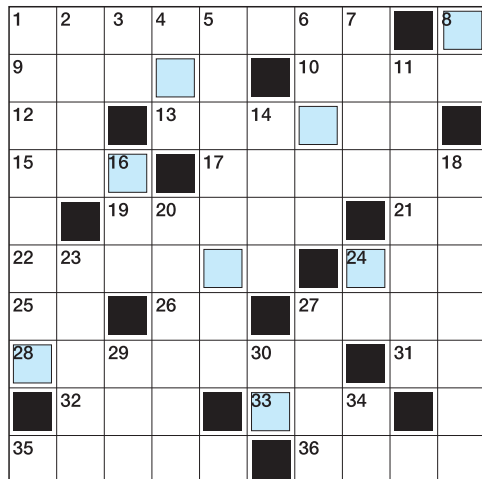
クロスワードタイム

この夏は本当に厳しい暑さです。残暑を乗り切るためにクロスワードの体操をしてみませんか。

二重枠の言葉を並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、組合名、Compassの感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様に千円分のクオカードを贈呈します。

■メ切:10月8日(金) ■宛先:〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3階 日建協クロスワード係 (Mailはこちらへnikkenkyo@nifty.com)

ヒント: お住まいは常に火の中です。



ヨコのカギ

- 読書の秋「スポーツの秋」など、いろいろありますが、やはり秋と言えばコレですね。
- 他の人に与えた損害をつぐなうこと。
- 上級行政機関が下級行政機関に対して、その権限の行使を指図すべく発する命令。
- 銀行などにお金を預けると付いてくるものです。
- 義理の兄や弟にあたる人との関係は?
- 有り余っていること。心にゆとりがあること。
- 野菜や果物を大量に卸売りする所。
- 元高・歩合・期間などから、歩合高・合計高などを算出する計算法。
- 何が起るかを前もって知ること。
- 和歌や俳諧などで、最後の句を名詞・代名詞・数詞で終わらせることです。
- 恵まれた幸せを、みんなで大いに楽しみ喜び合うこと。
- 家と家との間の狭い通路。
- 今、世界中から人気が集まり、入手困難なフランスのシャンパン「〇〇・シモネ」。
- 1979年に放映されたTVアニメ「花の子〇〇〇〇」。
- 怪異小説「雨月物語」で知られる江戸時代後期の読本作家は?
- 困難や反対があっても、最後までやり抜こうという、積極的な意向。
- どんなものでも好き嫌いなく食べたいと思う気持ち。
- この漢字「木乃伊」、何て読む?
- 大内裏の外に設けられた仮の内裏で、多くは外戚の摂関家の邸宅にあてられました。
- ハイテクの対義語は?

タテのカギ

- 「竜馬がゆく」などで知られる昭和を代表する作家は?
- 身分のよい人々や財産のある人々のこと。
- 髪の毛をとくときに使う道具です。
- 高校野球の聖地と言えば甲子園、では高校バレーの聖地と言えば「〇〇〇体育館」。
- 「エアプレーキ」を日本語で言うとは?
- 時空連続体の一部で、通常の宇宙空間とは性質の異なる物理量を持つ空間。
- 現代に近い時代のことです。
- 思いがけないこと。予期しないこと。
- ヒトやサルなどを含む、ほ乳類の総称。
- 酒の酔いがさめることです。
- 生まれた時から生えている髪の毛。
- ローマ市内にある世界最小の独立国家は?
- 電流の強さを実用単位で測る計器。
- CDやDVDなどのディスクをドライブから取り出すこと。
- 他の人から与えられた恵み。
- 紫色を帯びた濃い青色。
- 野球で、その打者の代わりに打つこと。
- 全体の中で占める割合が最も多く、一番普通のもの。
- おかずになる調味料の先駆け、「食べる〇〇油」。

No.785クロスワード 正解と当選

答えは「ワールドカップ」でした。

モ	モノ	セ	ツ	ク	カ	カ	オ
リ	ク	ツ	ヌ	キ	ア	ワ	モ
ム	シ	キ	ギ	イ	ン	セ	イ
ラ	テ	ン	ア	メ	リ	カ	ケ
セ	ン	グ	ウ	タ	ケ	ヤ	リ
イ	ケ	ト	シ	マ	シ	モ	テ
イ	ン	シ	マ	ゴ	コ	ロ	イ
チ	チ	ア	イ	チ	カ	ー	
ペ	リ	ー	コ	モ	ド	ブ	
ル	ソ	ン	ト	ウ	プ	ロ	レ

多数のご応募ありがとうございました。次の方が当選され、クオカードをお送りしました。またのご応募をお待ちしております。

新川友規(青木あすなろ) 芋生敏彦(アサヌマ)
 館 智子(安藤) 池上 剛・若林宏彰(鴻池)
 竹林 和(佐藤) 坪井勝彦(鈴与三和) 水崎隆志(銭高)
 花井 敦(大日本) 奥村善充・二宮景記(大豊)
 宮本正典(大和小田急) 金武祐子(鉄建)
 八木田真理(戸田) 萩原由美子(飛鳥) 高木路浩(中山)
 大道将史・二階堂喜美夫・松本正哉(西松) 瀬間二郎(JS)
 福田浩司(野村) 日暮直孝(ハザマ)
 橋川悠子(ピーエス三菱) 熊野憲作(フジタ)
 石川 憲(ペンタ) 中村浩一(馬淵) 菅井貴章(丸彦)
 細野宏巳(三井住友) 中西里美(名工) 岡本雅世(横河)
 <敬称略>

編集後記

今年の夏は例年以上に暑い日が続き、連日、熱中症関連のニュースが伝えられました。加盟組合の皆さんも今夏はご自身の健康に対しいつも以上に気をつかれたことかと思えます。厳しい残暑もまだまだ続くと思いますが、どうぞ引き続きご自愛ください。

さて、今号でご紹介したとおり、8月2日から3日にかけて開催された第87回定期大会より2010年度の日建協活動が始まりました。加盟組合より大会に参加し、2日間にわたって真剣な議論を行った代議員の方々からは、長時間労働など、幾多の問題を抱えた労働環境を「何とかしたい」という強い思いが感じられ、その取り組み姿勢は、私たち日建協にとっても活動スタートへの大いなる励ましとなりました。

今年度も日建協は、私たちのワーク・ライフ・バランス実現をめざし、「働きがい」「産業としての魅力」「労働条件の向上」へむけて、加盟組合の皆さんのご理解とご協力のもと、全力で活動してまいります。これからの1年間でどうぞよろしくお願いいたします。

もや

サッカーワールドカップ南アフリカ大会が終わって、早2ヶ月。サムライジャパンが短期間でチームの結束力を固め、惨憺たる前評判を蹴散らして、見事ベスト16という快挙を成し遂げたことはまだ記憶に新しい。私のような素人の眼から見ても、「チームとして意志の疎通ができていた」ことが大きな勝因のひとつであったことは分かる。言いかえれば、メンバー同士のコミュニケーションがきちんととれていて、今何をするべきなのかということ、メンバー全員が同じ認識を持ちながらプレーできていたということである。組織というものが、メンバーの個人力の総数を上回る威力を発揮するのは、まさにこの様な瞬間だと実感した。普段は別々のチームでプレーしている選手が、ワールドカップの予選・本戦の期間だ

け、国を代表するひとつのチームをつくり、短い時間の中で意志の疎通を成し遂げ、組織力を最大限まで高めることができたチームに勝利の女神は微笑むのかもしれない。

「組織力」が重要なのは何もサッカーだけでなく、会社や組合といったすべての組織に当てはまる。もちろん日建協においても同様である。特に、日建協本部のメンバーはサッカーと同じ11名で、みな別々の会社から集まり、3年という短い任期のなかで精一杯活動するという点だけ見れば、その境遇は「サムライジャパン」とよく似ていると思うのは私だけであろう。反論を覚悟して、あえて「サムライ日建協」という言葉を使いたいと思う。2010年度の「サムライ日建協」の活躍はいかに。乞うご期待! (黒豆)

みんなの声が力になる あなたの声を伝えよう 私たちの「未来」のために ピーエス三菱労働組合

2002(平成14)年、株式会社ピー・エスと三菱建設株式会社が合併し、株式会社ピーエス三菱が発足しました。日本で初めてプレストレストコンクリート(PC)を企業化するために設立された株式会社ピー・エス(当時の企業名はピー・エス・コンクリート株式会社)とゼネコンの三菱建設株式会社が合併したことから、現在ではプレストレストコンクリート技術に特化したゼネコンとして、各種の建設工事に実績を残しており、特に橋りょうに関してはトップクラスの実績を誇っています。その実力は、同社のHPで紹介されている石川県の「大巻どんと橋」や名古屋市の「赤とんぼ橋」でも見られるので、ぜひ確認してみてください。どちらの橋りょうも景観賞を受賞するだけあり、写真を見るだけでもハッとする美しさがこちらにも伝わってきます。

- | | |
|------------------|-----------------|
| ● 設 立：2003年3月18日 | ● 支 部：3支部 7グループ |
| ● 組合員数：347名 | ● 本部執行委員数：5名 |
| (2010年6月30日現在) | ● 執行委員会：月平均5回 |



後列左より 山本賃金対策部長、藤田時短推進部長
前列左より 藤塚副書記長、富安委員長、今村書記長



大巻どんと橋



あかとんぼ橋

最近では特に時短推進活動に力を入れて取り組んでいるとお聞きしました。

大きく分けて3つあります。まず1つ目として、今年7月から新たに支部・グループ毎で時短推進検討委員会を開催しています。長時間労働の改善について、なかなか進展していない現状があり、組合から会社に対して委員会開催を申し入れ、支部・グループ毎で労使も含めた時短推進検討委員会を開催しました。労使で原因を究明し対策を講じることで長時間労働の改善を図りたいと思っています。委員会を開催することで効果が期待できるようであれば、会社組織であるワーキンググループの正式な設立を目指しています。



富安委員長

次に今年5月から新たな就業システムを導入しました。時間外労働を行う前に、事前に上長へ残業申請を行うこと、また上長は申請内容を確認し承認を出すことで初めて残業を命令し、時間外労働ができるというシステムを構築しています。組合員の業務に対する時間管理の強化を図ること、また時間外労働に関しては管理職の意識が欠如していることが問題視されていたので、このフローを行うことで管理職の時間管理に対する意識の向上を図っています。

最後に、今年の4月から36協定の締結時間を全社的に1ヶ月60時間、年間で450時間とし、その時間を超えそうな場合は、各場所の時短推進検討委員会で労使協議を行い、人員を増員することや締結時間の見直しを図ることにより場所毎で対応することにしました。現実の時間外労働時間実態に照らし合わせれば締結時間を現状に即した時間で締結することも方法として考えられますが、短い時間で締結し、「労使協議による各場所の実情に即した締結時間の見直し」というハードルをひとつ設けることで、労使の意識を総労働時間に真剣に向かせることを考えました。時短推進検討委員会では今回締結した36協定の違反が無いかチェックを行い、事情に即して、労使で人員増員などの対策を行うことで、時間外労働の削減につなげていきます。

「ワーク・ライフ・バランス」の取り組みについて、
どうお考えですか？

「ワーク・ライフ・バランス」の取り組みですが、当労組では、休暇の取得向上や時間管理の徹底に努めることにより「仕事」と「充実した生活」の両立を目指しています。時短推進活動を強化することによって、個人の趣味の時間や家族と過ごす時間を増やすことに対する意識を向上させることで、「ワーク・ライフ・バランス」の浸透を図りたいと考えます。

労働災害の原因は様々ですが、ヒューマンエラーによる事故は長時間労働による注意力散漫などが少なからず起因していると感じています。品質の良い製品を製造することは当然ですし、事故を起こさないこともまた当然のことです。そのためにも仕事と生活の調和を図ることは重要であると考えます。なぜならより良い仕事は、充実した生活から生まれると思うからです。このことを念頭に、



藤塚副書記長



今村書記長

「ワーク・ライフ・バランス」の充実のためにも、今年度は就業システムの導入や36協定の締結時間見直し、時短推進検討委員会の実施により時短推進活動を強化したいと考えています。

「時短」「時短」と言うだけでなく実際に取り組みのアイデアを生み出し、真摯に取り組んでいる執行部からは、組合員の労働環境に対する強い改善意欲が感じられました。今回、ピーエス三菱労働組合執行部のみなさんからは紙面では紹介しきれないほどのお話しをいただきましたが、その話についてはWEB版で紹介します。ぜひ、日建協のHPにアクセスしてご覧いただきたいと思います。

お忙しいなかで取材協力いただいた執行部の皆さん、どうもありがとうございました。

日建協ホームページアドレス www.nikkenkyo.com